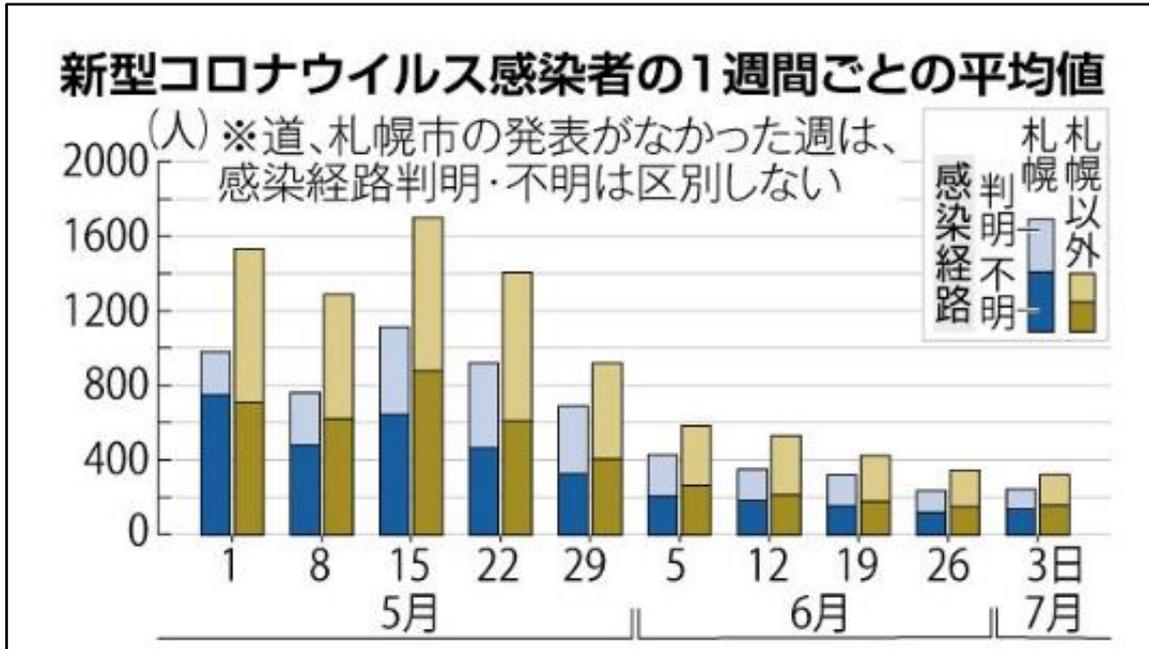


＜横田教授の「コロナ」チェック＞札幌と近郊で増加傾向に 今後の急拡大に警戒を

2022/7/3 北海道新聞



道内の直近1週間（6月27日～7月3日）の新型コロナウイルスの感染状況は急激に悪化し、札幌で増加傾向が出てきました。札幌以外の地域では石狩管内でも増加傾向が見えています。人の接触が増えているほか、オミクロン株派生型の「BA・5」が道内に流入しているため、今後、感染が急拡大する恐れがあります。適切にマスクを着用するなど、一人一人が感染対策を徹底するべき時です。

新規感染者数の平均は、札幌は前週比0・5%増の246・0人でした。市中感染の広がりを表す感染経路不明者は同8・2%増の137・4人。感染者1人が何人に感染させるかを示す「実効再生産数」は、3日に感染拡大の分岐点となる「1」を上回ったため、警戒しています。

一方の札幌以外の新規感染者数の平均は、同8・8%減の322・6人。このうち札幌に生活圏が隣接する石狩管内は同61・8%増の82・1人で急増しました。感染経路不明者についても石狩管内は同77・8%増の65・3人となりました。

増加の主な要因は、各地で屋外イベントの開催などが相次ぎ、個人の感染対策が少し緩んでいる可能性が考えられます。夏の観光シーズンを迎えて旅行者の往来が本格化する中、東京など感染が拡大している大都市圏からウイルスが流入している可能性もあります。

さらに今後の感染状況を左右する懸念材料の一つはBA・5です。現在国内で主流のBA・2より感染力が強いとされ、今後置き換わりが進みます。道内ではすでに、先月下旬から感染者が確認されています。

感染リスクが高まる場面はマスクを外しての会話です。特に誰かと食事をする時には、マスクを外したまま会話をしがちですので、注意してください。

最近暑い日が続いているので、熱中症に気を付けながら感染対策をしましょう。屋外で会話がない場合はマスクを外し、屋内に移動したらマスクを着けてください。人が密になる場所もマスク着用が必要です。各個人が感染対策を徹底できれば、今後の感染の急拡大を防げます。気を引き締めて取り組みましょう。（聞き手・田鍋里奈）